日工組通信

第60回

一口に「パチンコ」と言っても、多種多様なスペックやゲーム性があることをご存じだろうか。たとえばこの秋にデビューする新機種も、羽根モノあり、名機の復活あり、ちょいパチやAタイプもあり……と千差万別。おなじみ本紙のF記者とK記者が注目の6機種を紹介する。

K記者　50代の本紙記者。パチンコは学生時代によく打っていた。「日工組通信」をきっかけにパチンコ再デビュー。何事も探究心を持って取り組むことを心情としている。

F記者　入社３年目。パチンコは初心者も知識は豊富。好奇心が強く行動力は人一倍。最近の若者らしく、従来の縦社会にはなじまない。

選べる。パチンコが揃う

まさに身近なエンターテインメント

羽根モノ スカイレーサー（ジェイビー）

稼働中

© JB © SANKYO

大当り確率 約 1/319.6（設定1～6）～ 1/111.6

K　先日、友達と飲んでいたらパチンコの話になったんだ。彼は今はパチンコをやっていないらしいが、しきりに「昔は良かった」って言うんだよ。

F　何が良かったの？

K　昔は普通機、羽根モノ、権利物、一発台、アレパチ、一般電役、デジパチといろんなタイプのパチンコがあった、と。メインの演出部分に関しても役物、液晶、7セグ、ドット、ドラムとバリエーションがあった、と。それがCR機になって、液晶のデジパチばかりになってしまって、パチンコへの興味が薄れてしまった、と彼はそう言っていたよ。

F　ちょっと待って。その友人の言い分には全然納得いかないんだけど。だって今って1機種1機種、ゲーム性もスペックも違うじゃん。

K　そうなんだよ。僕も彼の話を聞きながら、ちょっと違うぞ、と思ってね。たとえば直近でリリースされる機種だけを見ても、ゲーム性は見事にバラバラだ。

F　その友人には「羽根モノ スカイレーサー」をオススメしてみたら？今も羽根モノの新台が出てるよって。

K　しかもメインの役物が飛行機ってところがまたいい。昔は羽根モノは別名「ヒコーキ」と呼ばれてたぐらいだから、往年の羽根モノファンにはたまらないはずだよ。

F　そんな呼び方があるんだ。じゃあオールドファンにとっては懐かしいだろうね。それにプラスして、羽根モノ初の6段階設定付きってところは新しい要素だし。

K　羽根に拾われた玉がVに入って大当り、という王道ルート以外に7セグに「7」が止まる直撃大当りもあるんだ。さらに大当り後には時短がついてきて、「時短突破型」としてのゲーム性も備えている。新しさも備えた羽根モノと言えるんじゃないかな。

PA元祖大工の源さん（SANYO）

12/2～

© SANYO

大当り確率 約 1/89.8

F　新旧の融合という意味では「PA元祖大工の源さん」もそうだよね。

K　初代の「CR大工の源さん」はCR機が普及し始めた1996年に登場して大ヒットしたんだけど、その理由は「大当りの3分の1で確変に突入・以後2回ループ、さらに時短も付く」というスペックにあった。23年後によみがえった「源さん」もそのスペックを踏襲しているからね。

F　今作は「V×2ループ」って名前で、画面にもVのストック数（残り大当り数）が表示されるからわかりやすいよね。

K　親切な設計だね。1回の大当り出玉こそ約400個と控えめだけど、大当り確率は約89分の1で、通常大当りの後には25回転の時短が付く。かなり遊びやすいスペックと言えるだろうね。

F　大当りをさらにバンバン引きたいって人には大当り確率が約50分の1の「Pちょいパチ清流物語3」もいいよね。

K　人気シリーズの演出を本当に手軽に楽しめるのはうれしいよ。ヒロインのなつきちゃんもかわいいし（笑）。

F　かわいいといえば、のばらちゃんも！「P華牌R～猿渡翔がローズテイルにやってきた～」のヒロイン。

K　「華牌」も「ローズテイル」もどっちもパチンコファンには人気が高いシリーズだったから、その両者がコラボしたこの最新作を待っていた人も多いだろうね。リアルな手牌進行や上がりの翻数に応じて大当りラウンド数が変わるところは麻雀ファンにも評価されるんじゃないかな。スペック面では6段階の設定付き、転落抽選タイプというところが特徴だ。

F　同じ設定搭載機でも設定差が重要になりそうなのが「P牙狼コレクション」だよね。

K　大当り確率は約129分の1から約179分の1までの6段階の設定。従来機よりも変動スピードが速くてヘソの幅が広いから、最大で1時間あたり約600回転も回せる。つまり、大当り確率の差が大きい上に短時間でかなりの回数を回せるはず。それがパチンコの新しい楽しみ方にもなるんじゃないかと思うんだ。

P牙狼コレクション（サンセイR&D）

11/5～

大当り確率 約 1/179.55（設定1～6）～ 1/129.77

©2005 雨宮慶太／Project GARO ©2006 雨宮慶太／東北新社・バンダイビジュアル ©2011「呀」雨宮慶太／東北新社 ©2013「桃幻の笛」雨宮慶太／東北新社 ©2014「GOLD STORM」雨宮慶太／東北新社 ©2010-2015 雨宮慶太／東北新社©Sansei R&D

F　「サンセイAタイプパチンコ第1弾」と打ちだしているメーカーの狙いもそこにあるよね。マルホンからもコンセプトが明確な「∞（インフィニティ）シリーズ第2弾」が出るんだよね。

K　3段クルーン搭載で大ヒットした「天龍∞」に続く「鳳凰∞」だね。こちらはクルーン1つだけど、継続率約80％の「∞ゲーム」終了後に、そこに復活できるかどうかがかかっているから、めちゃくちゃアツい。クルーンを回る玉が手前の穴にさえ入ってくれれば、まさにコンセプトの「∞＝無限」の期待感が待っている！

F　こうやって見てみると、やっぱり今のパチンコってバリエーションに富んでるよねえ。

K　実は今年の5月に日工組の内規が変わって、賞球数の個数の制限がなくなったんだよね。今回紹介した機種もそうだけど、この内規の改定によって、さらにゲーム性やスペックに幅を持たせることができるようになったらしい。

F　先輩の友人みたいに「昔は良かった」って言ってる人も、今のパチンコで遊んでみたらきっと考えが変わると思うなあ。

P鳳凰∞（マルホン）

11/18～

© MARUHON

大当り確率 約 1/312.5

P華牌R ～猿渡翔がローズテイルにやってきた～（豊丸）

11/5～

© TOYOMARU

大当り確率 約 1/129.8（設定1～6）～ 1/106.9

Pちょいパチ清流物語3（サンスリー）

11/5～

© SanThree

大当り確率 約 1/49.9

次回掲載は11月29日です　過去の掲載はこちらで読めますhttp://www.nikkoso.jp

※導入日は一部地域によって異なります